

今後の目標設定を検討するための資料

150%増しの目標を立て、それに向かうための手段を考えることで、今のバスケの街能代が行っていくべき方向性や目標が定まってくると考えた。大きな目標を立て、そこから時間を遡って考えることで、大きな将来に繋がる「簡単な1歩目」を考えることができる。

【文化関係】

例えば

- ・ 能代発、バスケマンガ・アニメが出来る。ねぎ一菜の活用 …という目標を立てると
→3年後、ねぎ一菜アニメ化、バスケ部を知で強くする
→1年以内に知の集積、書籍出版の流れを作る
→編集プロダクション経験者の紹介、著者の掘り起こし …などの具体案が出てくる
- ・ TVゲームの全国大会
→NBA ゲームの全国大会を主催してしまう。メーカー、雑誌媒体を招待
→周辺イベントを充実させ、観光PR
→定番化を狙う
- ・ バスケカレー。皿がボールの縫い目。カレーが数種類
→皿の開発、提供協力店の開拓

【競技関係】

- ・ オリンピック・ベスト8のチームが合宿しにくる
→合宿の馴染みの地になっている必要がある（2018年頃まで？）
→合宿向け施設の充実（国際レベルで！）
→能代市内の国際化対応
→国内外チームの合宿誘致、強化試合のための大会開催
- ・ 日本代表の定番合宿地
→オリンピックに向けて毎年合宿を行えるように働きかける
→日本代表チームに近い人々へのアピール。能代工業OBも多数
→大学、実業団への合宿アピール。各地を回るエージェントの採用
- ・ 能代から日本代表選手が出る
→2020年オリンピックに能代から日本代表選手が出るためには、現在の中学・高校生が世界レベルの活躍ができるように育つ必要がある
→世界レベルのバスケットボールクリニックを開催する
→能代の中高生に世界レベルの試合を見に行ってもらう
→指導者の強化を、あらかじめ世界レベルを狙うつもりで行う
- ・ NBAスター選手来能
→NBA 目的に渡米する日本人に来能アピールをしてもらう
→バスケットボール雑誌の方々に能代をアピールする
→雑誌編集者が取材するような大会を開き、メディア向け歓待体制を用意する

【観光関係】

- ・ バスケミュージアムが日本のバスケの殿堂になる
→2015 年を目標とした場合、2014 年には勝手に表彰を開始、準備委員会を組織して選考委員の内定を進めていく、能代カップへの招待など
- ・ 小・中・高、バスケで国際交流
→2015 年より順次国際交流大会を開催していく
→能代市・地元の資金以外にもスポンサーを世界レベルで募集する
- ・ パンフレットの国際化
→ホームページの国際化
→観光庁へのアピール
- ・ 体育館付きの観光施設
→バスケミュージアムと体育館を併設し、見て触れて体験できる施設とする
→2 号館、3 号館としてバスケミュージアムを拡張していく

【事業関係】

- ・ 300 万円クラスの補助金でバスケ事業が起こせる
→使い勝手のよいチャレンジ事業とは別に、もっと世の中への影響が大きいレベルの事業を立てたくなるような体制作り
→（せっかく作っても活用されないと困るので、あらかじめの策として）スポーツビジネス関係者を招き、事業の起こし方講座を開く
→奨学金制度に向けた原資にする、プロチームの結成のための準備金など...
- ・ バスケットシューズの工場・工房の誘致。企業育成
→大量生産拠点は難しい、ならば一点ものの工房ではどうだろうか
→ニューヨークの 21 Mercer ではナイキ Air Force の制作を請け負っている
→バスケットシューズコレクターのための木製シューキーパーの制作（木都コラボ）
→アイディア起業塾の開催
- ・ バスケグッズ（食べ物）購入でバスケポイントがたまると景品プレゼント→NBA 観戦ツアー
→能代市民が海外旅行（もちろん NBA 観戦）に行く楽しみを持ちながら地元消費行動を取れる
→実は簡単に行けるという認識を与え、NBA を見たことがある市民の割合が異常に高い街、能代市を目指す
- ・ バスケに関連するもの・目にするもの～12→50 を目標に
→バスケ関連の看板に対する助成を行う
→バスケ関連グッズ、看板のセンスを磨くため、デザイナーによるレクチャーを開催
→バスケ関連から始まって美的センスを磨く街へ